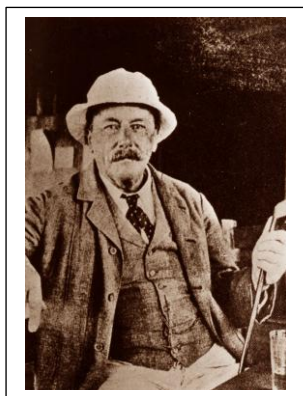


【貢献部門】

アーサー・ヘスケス・グルーム (Arthur Hesketh Groom)

1846～1918年

日本に初めてゴルフを持ち込んだ功労者



英国ロンドンで生まれ、貿易関係の仕事に就く。1868年に来日し、神戸を拠点にお茶や生糸の貿易など事業家として成功。六甲山に最初に別荘を建設するなど、六甲山の開発にも尽力し、「六甲山の開祖」と称されている。

1898年、ゴルフ好きの英国人の友人との語らいの中でゴルフコース造りを決意。グルーム自身はゴルフをしたことがなかったが、私財を投じて取り組んだ末、1901年秋に最初の4ホールが完成した。

これが日本における最初のゴルフコースである。1903年には9ホールに拡張され、我が国最初のゴルフ倶楽部である神戸ゴルフ倶楽部が発足した。

今では大きな流れとなっている日本ゴルフの最初の一滴を生み出した人物として、その存在は永遠に語り継がれるべきものである。